

令和6年度 第1回江南市上下水道事業経営審議会 議事要旨

会議名	令和6年度 第1回江南市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和6年4月22日（月） 午後2時から午後3時20分まで
場所	江南市役所 2階 大会議室
委員	出席委員8名 横山 幸司（学識経験者） 尾関 昭（市議会議員） 奥村 真也（学識経験者） 近藤 正信（団体代表） 古田 みちよ（団体代表） 三輪 陽子（市議会議員） 深尾 俊一（公募委員） 松井 俊樹（公募委員）
事務局	9名 古田（水道部長） 尾関（水道課長） 青山（水道課工務グループリーダー） 小島（水道課配水・維持グループリーダー） 三輪（水道課経営・業務グループリーダー） 滝（水道課経営・業務グループ） 審議会運営支援受託業者（株式会社日水コン 3名）
傍聴人数	1人
資料	・次第 ・水道料金の見直しについて
1. 開会	
2. 議題	水道料金の見直しについて
事務局	資料「水道料金の見直し」（18ページまで）について説明した。
委員	愛知県内水道事業体と比較した水道料金について、この4つの条件で比較したのはどういう理由か。
事務局	一般的に公表されている指標を活用したもので、家庭で主に使用される口径13ミリと口径20ミリの水道料金について、月10m ³ は主に単身者、月20m ³ は多人数世帯としての比較が可能である。

- 委員 江南市で一番多い使用者は、どの比較を参考にできるか。
なお、近隣の犬山市、一宮市、小牧市との料金差が更に広がることについて心配する。
- 事務局 口径 13 ミリで 20 m³~30 m³の使用者が一番多いため、この資料では、5 ページである。
- 委員 12 ページ料金算定の概要にて、最近の人件費や資材関係の高騰は、人件費、資材関係ともに維持管理費に入っているか。
- 事務局 人件費は、維持管理費で、資材関係は資産維持費に入ってくる。
- 委員 資材の高騰が今後見込まれる中、資産維持率 1.3%とあるが、ある程度資材高騰を見込んだ上で、1.3%でも大丈夫だということか。
- 事務局 今後必要な施設整備を具体的に計算し、近年の物価上昇もある程度見込んだ上で 1.3%としている。3%に近ければ、余裕を持った経営が可能となるが、市民への負担の増加も考慮した上で、最低限のラインとして 1.3%を設定している。
- 委員 料金の比較について、犬山市が約人口 7 万人で、江南市が約 10 万人で近いと思うが、料金差があるのはなぜか。
- 事務局 犬山市は全国的に安い水道料金である。料金に差がある理由は、家庭用以外で、企業等の水道の使用水量に大きな差があるためと考えられる。その理由は、企業からの水道料金収入が多ければ、市民等からの水道料金収入が少なくとも経営が可能となるからである。
- 委員 行政が水道料金をどのように考えるのかが一番大きな問題だと思う。犬山市と江南市は近く、近隣でこれだけの料金の差があることは問題だと思う。水道事業は、水道料金収入で運営するということは分かるが、住みよい町づくりを目指す江南市として、考える必要があるのではないか。
- 会長 料金の差は、経営環境の違いや、政治的な判断の違いで料金改定ができないことによる影響もあり、非常に難しい問題である。
- 事務局 資料「水道料金の見直し」(19 ページ以降)について説明した。
- 委員 24 ページで、口径 100 ミリの平均使用水量が 8,500 m³、口径 150 ミリの平均使用水量が 9,000 m³となっているが、実際に何社くらい該当があるか。

- 事務局 口径100ミリは1社で、口径150ミリは該当無い。
- 委員 口径75ミリと口径100ミリは10倍ほど水道料金が違うが、経営面で重視すべきであるか。
- 事務局 口径75ミリの使用者も少ないが、全国的には、多く水量を使用する企業が経費の削減を目的として、水道の購入から井戸へ切り替えるという事例が多く発生しているため、その対策として従量金の逡増度を緩和し、多く使用しても負担が抑えられるよう、水道料金（案）を作成している。
- 委員 水道料金（案）は、B案、B-1案どちらでも良い。
- 委員 水道料金の見直しは、市民に理解を得ることを目標とし、改定率に着目した資料となっているが、その考え方で良いか。
- 事務局 報道では、どうしても平均料金改定率が話題になってしまうため、改定率を中心に説明しているが、実際は、改定額についても着目してほしい。
- 委員 総括原価を見越した、値上げだと思うが、B案だと従量料金の20 m³以上は現行料金で、B-1案は、従量料金はすべてプラス8円、この違いの考え方が理解できない。
- 事務局 B案は、従量料金の少ない水量分のみの値上げであり、それ以上に多く使用する場合に、値上げの影響が限定的となるため、使用水量の少ない市民等に配慮し、全ての従量料金単位で一律8円値上げすることとしたものである。
- 委員 B案でもB-1案でも良いが、根拠を明確にするよう求める。
- 委員 B案だと、一般家庭に影響があるため、B-1案を作り、少しでも一般家庭に配慮したと感じた。使用者の割合が多い口径13ミリ20 m³では、1.8%の違いなので影響は少ないが気持ち的には嬉しい。また、江南市は企業が多くないため、水道の経営に対する企業の貢献は少ないことで配慮してくれたと思った。
今後も水道施設の耐震化を行うためには、資産維持費は必要であるし、基本料金の県平均30%に近づくため基本料金の値上げも必要であると思うので、B-1案に賛成する。
- 委員 B案でもB-1案でも良いと思うが、B-1案は、多水量使用者の改定率が高くなり、その代わり家庭用の使用者が多い位置の改定率が低くなって

いるため、B-1案が良いと思う。

委員 水道事業の内部留保資金はどの程度か。

事務局 10億円程度である。

委員 物価上昇が激しく、低所得者が大変な生活をしている。(令和元年度の経営戦略時に試算した料金改定率) 13.8%から10%に抑えたり、資産維持費を3%から1.3%に抑えたり、色々考えているようだが、口径13ミリで20m³使用した場合を10%以内にできないか。また改定時期を1年遅らせたり、低所得者への減免措置を検討して欲しい。

委員 B案とB-1案にはあまり大差がないと思うが、料金体系を一生懸命考えていることが分かるため、賛同する。

会長 料金体系の決定について、多数決は執らないが、委員の多くのご賛同を得たB-1案を審議会の意見として、答申(案)の作成をしたい。
また、少数意見であっても附帯意見に表し、市長にご答申するという事は可能である。昨今の経済状況に鑑みた据え置き期間や減免等については政治的判断に委ねたい。審議会としては今最善と考えるシミュレーションを踏まえた今回の案を答申とさせて頂く。

3. その他

今後の予定について、事務局より説明した。

4. 閉会